

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 大量輸血症例におけるフィブリノゲン製剤使用状況』

【研究の背景および目的】

大量出血をした場合、大量の輸血を必要とします。しかしながら、大量に輸血が必要な場合、多数の血液提供者の血液を輸血することになり、感染症などのリスクが高まります。そこで、出血を迅速に止めるためにフィブリノゲン製剤を使用することがありますが、慎重な使用が求められています。

そこで、東邦大学医療センター大森病院輸血部では、大量出血時におけるフィブリノゲン製剤の使用効果の検討を目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、輸血量の削減、ひいては感染症リスクの低減につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2015年～2019年までに東邦大学医療センター大森病院において、大量出血の治療において赤血球製剤およびフィブリノゲン製剤を使用した症例を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出したデータを解析することにより、フィブリノゲン製剤の補充による止血効果と、輸血製剤の使用量についての変化を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
輸血部

職位・氏名 臨床検査技師 橋本 紗織

電話 03-3762-4151 内線 3525